

人口減少対策特別委員会

本山 正人

項目 (3) その他

豊かに暮らせる社会への取り組み

これまでに私が述べて来た自然減、社会減対策についての提言で関連して述べることになるが、街中は賑わい創出の追求、高齢者がゆったりと休みながら安全に、お買い物を楽しめる場所、また、空き店舗を活用したシェアハウスやコワーキングスペースなど企業協力。持ち主から借り受ける仲介役に行政が担う、この事により、スムーズに事が進むと考える。また、中山間地では、街中とは反対に自然を生かし、インフラ整備をさらに進めて街中やオフィス街へのアクセスが短時間で出来る環境整備、そして、「空き家」や「空き施設」の利活用。また、地方の魅力としての一例は次の通りである。

- ① 伝統文化を身近に触れることが出来る。
- ② 食べ物がおいしい。
- ③ 住宅の住み心地が良い（近隣環境）
- ④ 自然が豊か。
- ⑤ 物価が安い。（土地）
- ⑥ 空気や水がきれいだ。
- ⑦ 星がきれいだ。

など、まだ沢山あると思うが、人それぞれ価値観の違いがあるので、決めつけることは出来ない。先般、上越市が「地域の宝」認定は60件に上ると発表がありました。それぞれの地域に暮らす市民が誇りと生きがいを感じている表れではないだろうか、このことこそ魅力ではないかと考える。

一方、豊かに暮らしていくには収入確保は避けて通れない、働く場メニューの充実、地方暮らしは首都圏よりお金の支出が少ない。以上のことから一般的に暮らすには豊かに暮らせると考える。